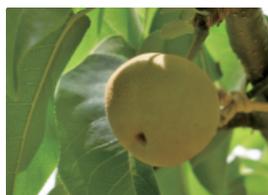


～千葉県で生まれた梨の新品種「秋満月」～

五十嵐園



今回は南山中学校の近くに農園を構える五十嵐正三さんにお話を伺いました。

五十嵐さんは、なじみの「幸水・豊水」や「にっこり・王秋」といった珍しい品種の栽培に取り組んでいますが、今年デビューを迎える「秋満月」はとてもおいしいと太鼓判を押します。

秋満月はその名の通り、月が夜空に美しく映える9月後半に収穫の最盛期を迎えます。豊水とかおりの長所を引き継いで作られた秋満月は、大玉で果肉がたっぷりと詰まってジューシーな甘い果汁を楽しむことができる珍しい品種です。保存性にも優れており、ポリ袋に新聞紙で包んで、冷蔵庫の野菜室などで保存をすると、正月まで梨特有のシャキシャキ感を味わうことができるそうです。

他の品種と比べて枝に付く葉の数が多く、果実に養分を送るためにこまめに剪定^{せんてい}を行い、しっかりとした球体を描き、筋が入っていないものを選んで摘果しているそうです。「秋満月は新しい品種なので、栽培は苦労するよ。良いものは手間がかかるけれど、お客さんが喜んで食べてくれるならやりがいがあるね」と農作業で焼けた顔に笑みを浮かべていました。

畑では一本の梨の幹に様々な品種の枝が接ぎ木^{つぎぎ}されています。素人目にはどの枝も同じように見えるのですが、枝に付く花芽の数や方向が違ふとのこと。分かりやすいように色の違うビニールテープを巻いて管理されていました。「なるべくたくさんの品種を残してやりたいけれど、時代の流れには逆らえないから切ってしまうこともあるんだ」と農業者としての厳しさも感じました。

「市内で秋満月を作っている農家はそんなに多くないんだ。うちは去年、試験的に直売をしたら大好評だったよ。南山中学校の近くだから場所も分かりやすい。おいしい梨をそろえてお待ちしております」

今年デビューの秋満月を求めに、五十嵐園を訪れてみてはいかがでしょうか。

〒五十嵐園（復642） ☎491-8518

園産業振興課 ☎401-4631

